

令和元(2019)年度
かわさき市民アンケート
報 告 書

川 崎 市

目 次

I 調査概要	1
II 調査回答者の属性	5
1 第1回アンケートの回答者	7
2 第2回アンケートの回答者	10
III 調査結果	13
1 第1回アンケートの調査結果	15
1.1 川崎市歌について	17
(1) 「川崎市歌」の聴取経験	17
(2) 「川崎市歌」の認知	19
(3) 「川崎市歌」の印象	21
(4) 「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の聴取経験	23
(5) 「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の認知	25
(6) 「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の印象	27
(7) 「川崎市歌」と「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の印象比較	29
① 聴取経験者	29
② 聴取未経験者	30
1.2 ふるさと納税について	31
(1) 平成 30(2018)年 1 月～12 月の間のふるさと納税の利用経験	31
(2) ふるさと納税を利用しなかった理由	34
(3) ふるさと納税の利用状況(回数と総金額)	36
(4) ふるさと納税を行った理由	38
(5) ふるさと納税を行った理由別金額内訳	38
(6) ふるさと納税制度により市税が何十億円も減収していることの認知	39
(7) ふるさと納税制度により、市税が減収していることを認知した情報源	41
(8) ふるさと納税の利用状況と、ふるさと納税制度による市税減収の認知状況による分析	43
① ふるさと納税利用状況×市税減収認知状況による分類	43
② 市税減収認知状況別ふるさと納税を利用しなかった理由	45
③ 市税減収認知状況別ふるさと納税利用状況(回数)	45
④ 市税減収認知状況別ふるさと納税利用状況(総金額)	46
⑤ 市税減収認知状況別ふるさと納税を利用した理由	46

1.3 市政だよりについて	47
(1) 市政だよりの入手状況	47
① 「市政だより(8月1日号)」の入手状況	48
② 「市政だより(8月21日号)」の入手状況	50
(2) 市政だより(8月1日号)の評価【情報量】	52
(3) 市政だより(8月1日号)の評価【内容】	54
(4) 市政だより(8月1日号)の評価【読みやすさ】	56
(5) 市政だより(8月1日号)の「読みやすさ」の評価理由	58
(6) 市政だよりの閲読状況	59
① 「市政だより1日号」の閲読状況	60
② 「市政だより21日号」の閲読状況	61
(7) 各種媒体の閲読状況	62
(8) 町内会・自治会加入状況	65
(9) 新聞購読状況	67
(10) 住居形態、町内会・自治会加入状況、新聞購読状況別による分析	69
① 住居形態／町内会・自治会加入状況×市政だより8月1日号の入手状況	69
② 新聞購読状況×市政だより8月21日号の入手状況	71
③ 市政だより8月1日号または8月21日号の入手状況	72
④ 市政だより1日号または21日号の閲読状況	73
2 第2回アンケートの調査結果	75
2.1 定住状況について	77
(1) 居住年数	77
(2) 定住意向	79
(3) 転居意向の理由	81
(4) 転居先の希望	82
2.2 生活環境の評価について	84
(1) 生活環境の満足度	84
(2) 総合的な生活環境の満足度	94
2.3 関心ごとと行動範囲について	97
(1) 関心を持っていること	97
(2) 行動範囲	100
2.4 市政に対する評価と要望について	105

(1) 市政の仕事でよくやっていると思うこと	105
(2) 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	110
(3) 施策や事業の総合的な満足度	115
2.5 川崎市立図書館の利用について	117
(1) 図書館の利用経験	117
(2) 利用した図書館	120
(3) 図書館の利用頻度	123
(4) 図書館を利用しなかった理由	125
(5) 利用してみたい図書館	128
(6) 電子書籍の利用頻度	131
2.6 市民館の利用について	133
(1) 市民館の認知	133
(2) 市民館の利用経験	135
(3) 利用した市民館	138
(4) 市民館の利用頻度	141
(5) 市民館を利用した目的	143
(6) 市民館を利用した際の情報源	146
(7) 市民館を利用したことがない理由	149
(8) 利用してみたい市民館	152
(9) 関心を持っている事柄や活動	155
(10) グループ、サークル等への所属状況	158
(11) 関心を持っている活動を行うために市が取り組むべき重要な課題	160
2.7 市政だよりについて	163
(1) 市政だよりの閲読状況	163
① 「市政だより 1 日号」の閲読状況	164
② 「市政だより 21 日号」の閲読状況	165
③ 市政だよりの閲読状況と市民館の利用経験	166
IV 調査票	167

I 調査概要

1 調査目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和50(1975)年度から毎年1回1,500人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年2回、各回3,000人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成18(2006)年度から実施することとしたものである。

昭和50(1975)年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民に関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2 調査方法

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査の地域 | 川崎市全域 |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 18 歳以上の個人 |
| (3) 標本の抽出 | 第 1 回 インターネットモニター登録者から事前調査により抽出
第 2 回 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 |
| (4) 標本数 | 第 1 回 1,500 標本回収まで実施
第 2 回 3,000 標本(令和元(2019)年 10 月抽出) |
| (5) 調査方法 | 第 1 回 インターネット調査
第 2 回 郵送調査(郵送配布一郵送回収・はがき督促を 1 回) |
| (6) 調査期間 | 第 1 回 令和元(2019)年 8 月 30 日(金)～9 月 9 日(月)
第 2 回 令和元(2019)年 11 月 13 日(水)～12 月 23 日(月) |
| (7) 調査委託機関 | 株式会社グループワークス |

3 調査項目

◎第 1 回

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) 川崎市歌について	(問 1～問 6)
(2) ふるさと納税について	(問 7～問 12)
(3) 市政だよりについて	(問 13～問 21)

◎第 2 回

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) 定住状況について	(問 1～問 4)
(2) 生活環境の評価について	(問 5～問 6)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 7～問 8)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 9～問 10)
(5) 川崎市立図書館の利用について	(問 11～問 16)
(6) 市民館(教育文化会館、各区の市民館・分館)の利用について	(問 17～問 27)

4 回収状況

	第 1 回	第 2 回
(1)標本数	1,500 標本回収まで	3,000 標本
(2)有効回収数	1,500	1,567
(3)有効回収率		52.2%

5 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、図表中の数値の合計が 100.0%にならない場合や、複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答者数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6 標本誤差 ※標本誤差は、無作為抽出を実施した第 2 回調査にのみ適用される。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

{

N=母集団数(川崎市の 18 歳以上人口)

n=比率算出の基数(回答者数)

p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答比率(p) 基数(n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
2,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1,567	±2.14%	±2.86%	±3.27%	±3.50%	±3.57%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
200	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%
30	±15.49%	±20.66%	±23.66%	±25.30%	±25.82%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

注/この表の見方

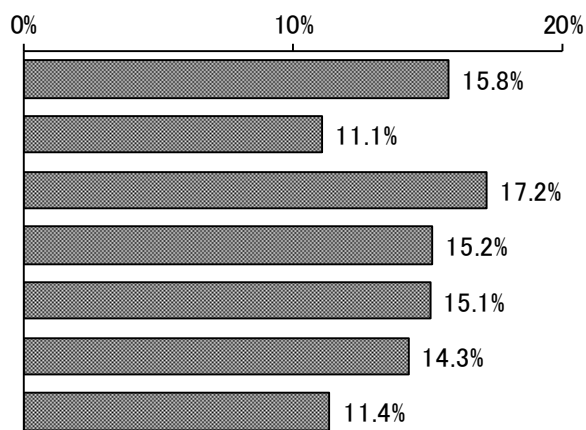
標本誤差とは、今回(第 2 回調査)のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が 2,000 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.10%以内(56.90～63.10%)である」とみることができる。

Ⅱ 調査回答者の属性

1 第1回アンケートの回答者

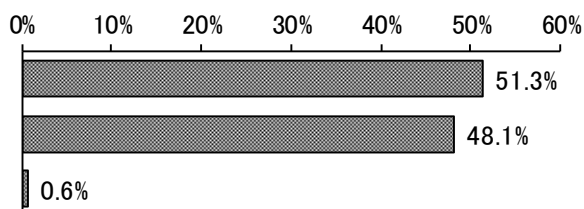
1.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	237	15.8
2 幸区	166	11.1
3 中原区	258	17.2
4 高津区	228	15.2
5 宮前区	226	15.1
6 多摩区	214	14.3
7 麻生区	171	11.4
全 体	1,500	100.0



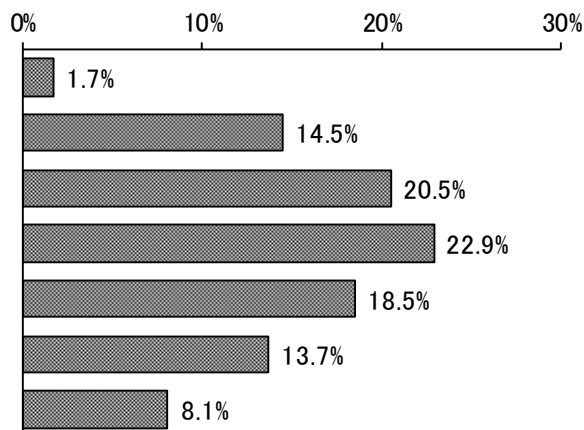
1.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	770	51.3
2 女性	721	48.1
3 選べない・答えたくない	9	0.6
全 体	1,500	100.0



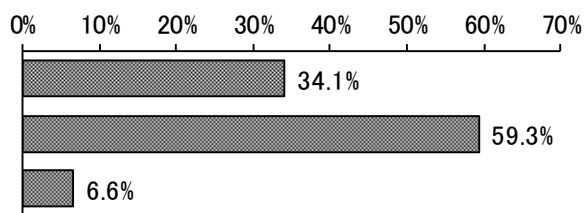
1.3 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 10歳代	25	1.7
2 20歳代	218	14.5
3 30歳代	308	20.5
4 40歳代	344	22.9
5 50歳代	278	18.5
6 60歳代	205	13.7
7 70歳代	122	8.1
全 体	1,500	100.0



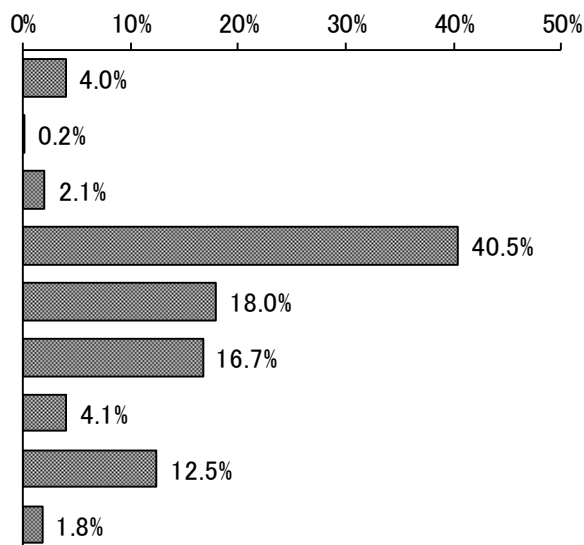
1.4 婚姻

	基数(人)	構成比(%)
1 結婚したことがない	512	34.1
2 結婚している	889	59.3
3 結婚したことはあるが、今は独身	99	6.6
全 体	1,500	100.0



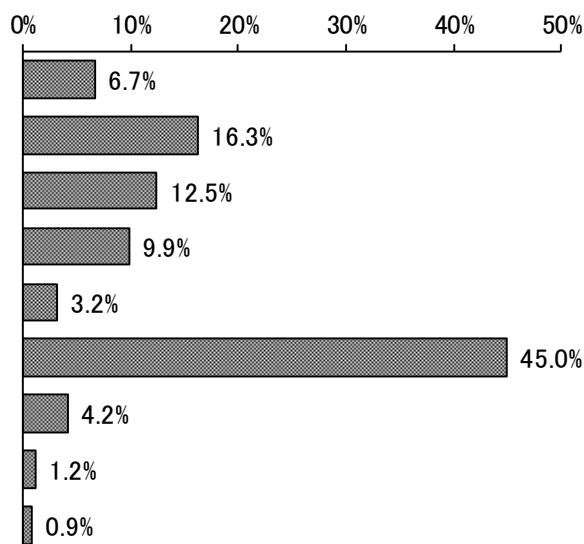
1.5 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	60	4.0
2 自営業の手伝い(家族従業者)	3	0.2
3 会社などの経営者・役員	31	2.1
4 正社員・正職員	608	40.5
5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外)	270	18.0
6 主婦・主夫(家事専業)	251	16.7
7 学生	62	4.1
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	188	12.5
9 その他	27	1.8
全 体	1,500	100.0



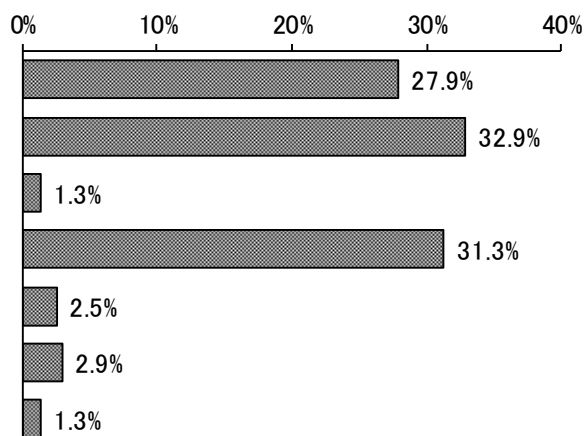
1.6 通勤・通学先の地域

	基数(人)	構成比(%)
1 自宅	71	6.7
2 川崎市(お住まいと同じ区で自宅以外)	173	16.3
3 川崎市(お住まいと別の区)	133	12.5
4 横浜市	105	9.9
5 川崎市・横浜市以外の神奈川県	34	3.2
6 東京23区	477	45.0
7 東京都(23区以外)	45	4.2
8 神奈川県・東京都以外の道府県	13	1.2
9 通勤・通学していない	10	0.9
全 体	1,061	100.0



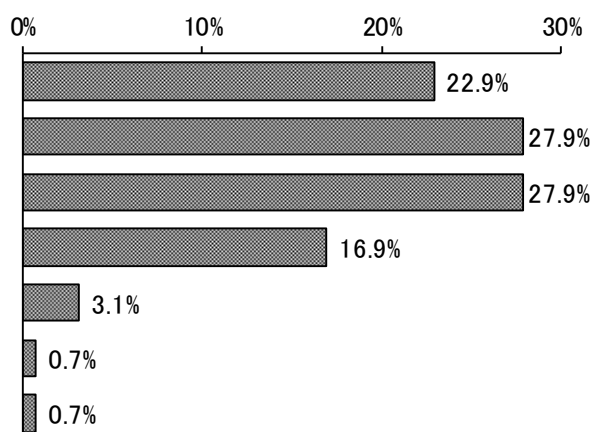
1.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	418	27.9
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	494	32.9
3 賃貸住宅(一戸建)	19	1.3
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	470	31.3
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	37	2.5
6 社宅・寮・公務員住宅	43	2.9
7 その他	19	1.3
全 体	1,500	100.0



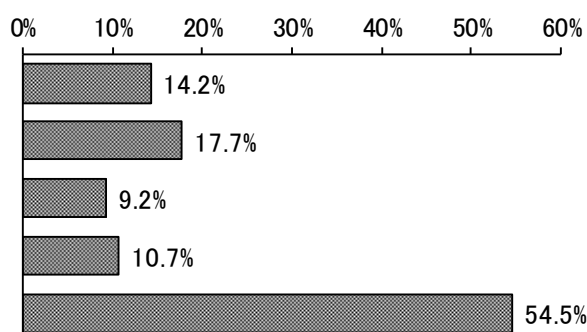
1.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	343	22.9
2 2人	418	27.9
3 3人	418	27.9
4 4人	254	16.9
5 5人	46	3.1
6 6人	11	0.7
7 7人以上	10	0.7
全 体	1,500	100.0



1.9 同居状況(複数回答)

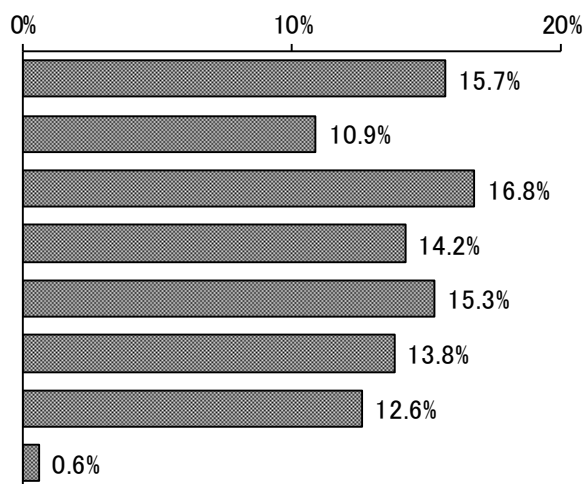
	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	164	14.2
2 小学生・中学生・高校生	205	17.7
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	106	9.2
4 75歳以上の方	124	10.7
5 上記に当てはまるものはいない	631	54.5
全 体	1,157	-



2 第2回アンケートの回答者

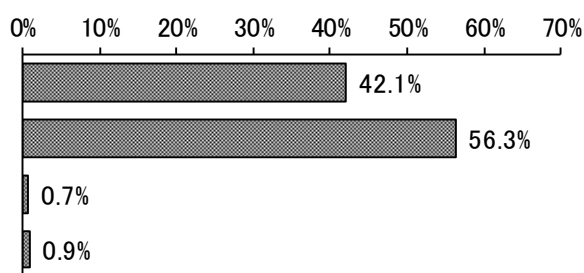
2.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	246	15.7
2 幸区	171	10.9
3 中原区	263	16.8
4 高津区	223	14.2
5 宮前区	240	15.3
6 多摩区	217	13.8
7 麻生区	197	12.6
8 無回答	10	0.6
全 体	1,567	100.0



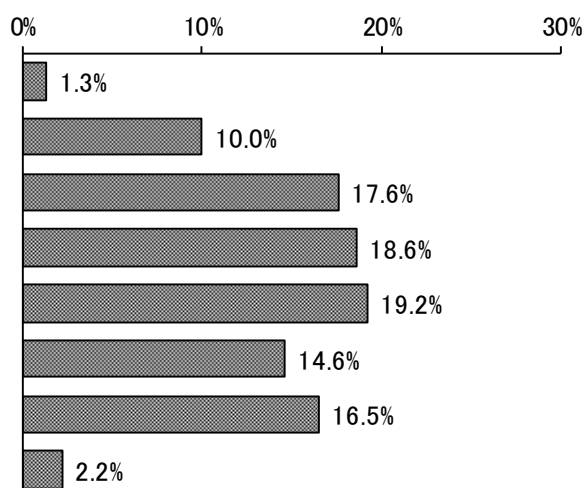
2.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	659	42.1
2 女性	883	56.3
3 選べない・答えたくない	11	0.7
4 無回答	14	0.9
全 体	1,567	100.0



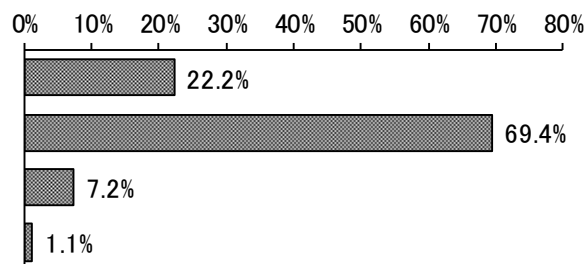
2.3 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 10歳代	21	1.3
2 20歳代	157	10.0
3 30歳代	276	17.6
4 40歳代	292	18.6
5 50歳代	301	19.2
6 60歳代	228	14.6
7 70歳以上	258	16.5
8 無回答	34	2.2
全 体	1567	100.0



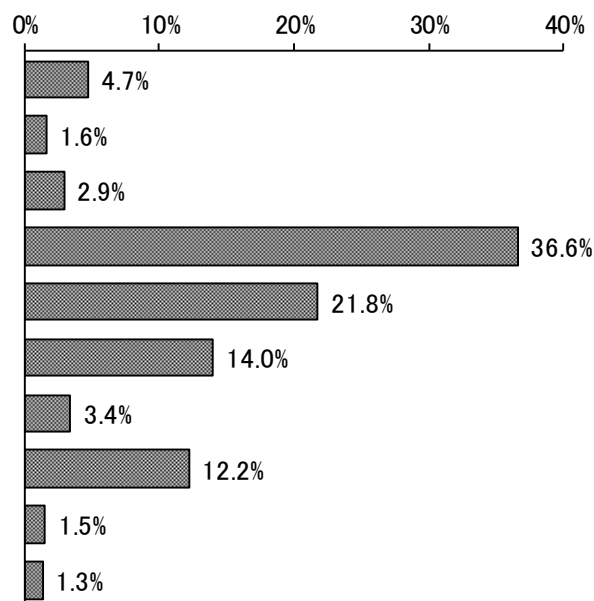
2.4 婚姻

	基数(人)	構成比(%)
1 結婚したことがない	348	22.2
2 結婚している	1,088	69.4
3 結婚したことはあるが、今は独身	113	7.2
4 無回答	18	1.1
全 体	1,567	100.0



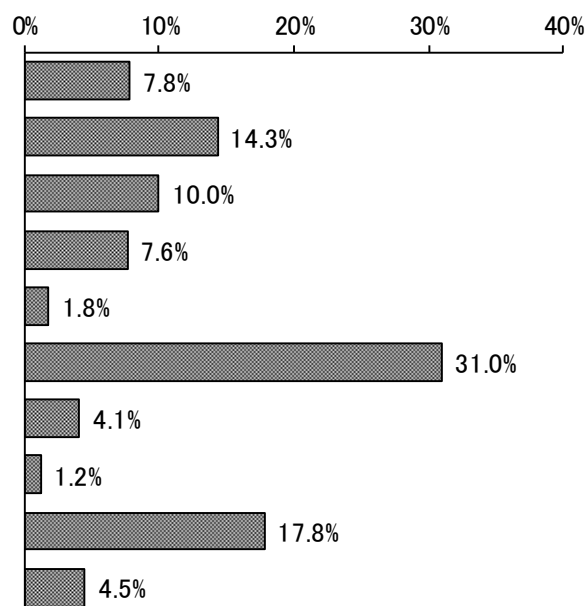
2.5 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	73	4.7
2 自営業の手伝い(家族従業者)	25	1.6
3 会社などの経営者・役員	45	2.9
4 正社員・正職員	574	36.6
5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外)	342	21.8
6 主婦・主夫(家事専業)	220	14.0
7 学生	54	3.4
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	191	12.2
9 その他	23	1.5
10 無回答	20	1.3
全 体	1,567	100.0

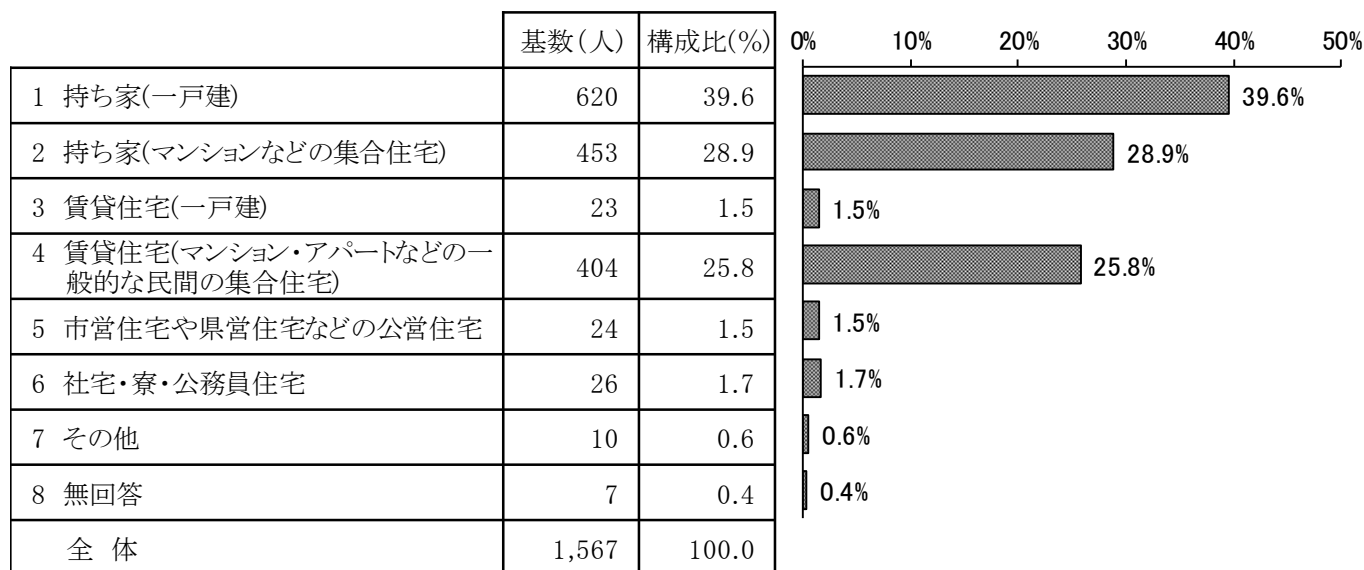


2.6 通勤・通学先の地域

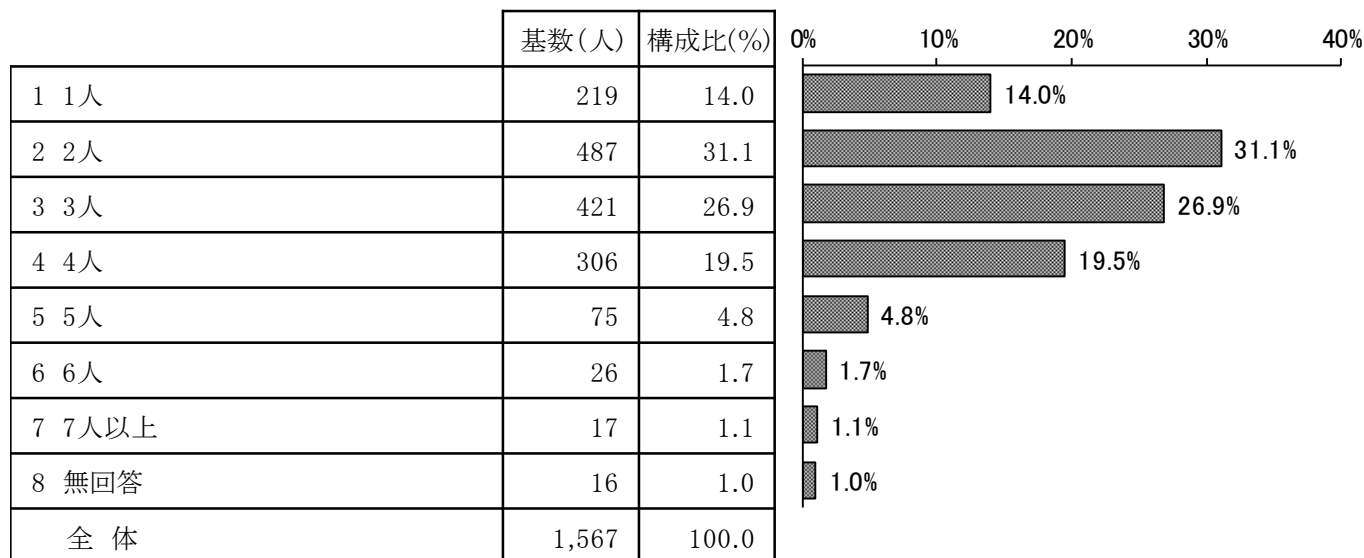
	基数(人)	構成比(%)
1 自宅	122	7.8
2 川崎市(お住まいと同じ区で自宅以外)	224	14.3
3 川崎市(お住まいと別の区)	157	10.0
4 横浜市	119	7.6
5 川崎市・横浜市以外の神奈川県	28	1.8
6 東京23区	485	31.0
7 東京都(23区以外)	64	4.1
8 神奈川県・東京都以外の道府県	19	1.2
9 通勤・通学していない	279	17.8
10 無回答	70	4.5
全 体	1,567	100.0



2.7 住居形態



2.8 同居人数



2.9 同居状況(複数回答)

